

# 入試報告会&教育講演会



## ●「新大学入試制度にどう備えるか」

講師 熊谷壽承（代々木ゼミナール現代文・小論文講師）

河合塾、Z会講師を経て代々木ゼミナール講師を19年 代々木ライブラリーより「新小論文ノート」を出版  
東大現代文、国公立現代文、早大現代文、慶大現代文などを担当し、テキスト・模試も作成サテライン講義においても、医学部系小論文、高3ハイレベル現代文などを担当。  
生徒アンケートでも平均97点で全国最上位レベルの人気。

講師 助川 幸逸郎（横浜市立大学・東海大学非常勤講師）

著書に『小泉今日子はなぜいつも匂なのか』（朝日新書）、『光源氏になってはいけない』（プレジデント社）、『21世紀における語ることの倫理』（共編著、ひつじ書房）、『日本語表現力 アカデミック・ライティングのための基礎トレーニング』（共著 朝倉書店）など。ひつじ書房のwebマガジン「未草」において、重里徹也氏（元・毎日新聞学芸部長 現・聖徳大学教授）とともに、「いかに文章を書くか」ついてリレー式で連載中

3/11  
(日)

午前 10:00~11:30

入場無料 (要予約)

日頃より当学園に対してご理解ご協力を賜わりありがとうございます。さて、当学園では下記の要項で特別教育講演会を開催します。「入試報告会&教育講演会」を実施致します。

おかげ様で、今年度は初等部におきましては小石川中等教育学校、中等部におきましては早稲田大学高等学院と、最難関校といわれる学校への合格者を出すことができました。そこに至る当学園の日頃の取り組み、生徒の様子等をお話しできたらと思います。

さらに、昨年11月に実施し、大変大好評をいただきました「教育講演会」の第二部をご案内致します。「新大学入試制度にどう備えるべきか」というテーマで、前回同様大手予備校の現役実力講師と、国語教育についての著書も出されている気鋭の大学講師のお二人をお招きし、今後小学生、中学生が何を学び、身に付けていくべきなのかをお話ししていただきます。

